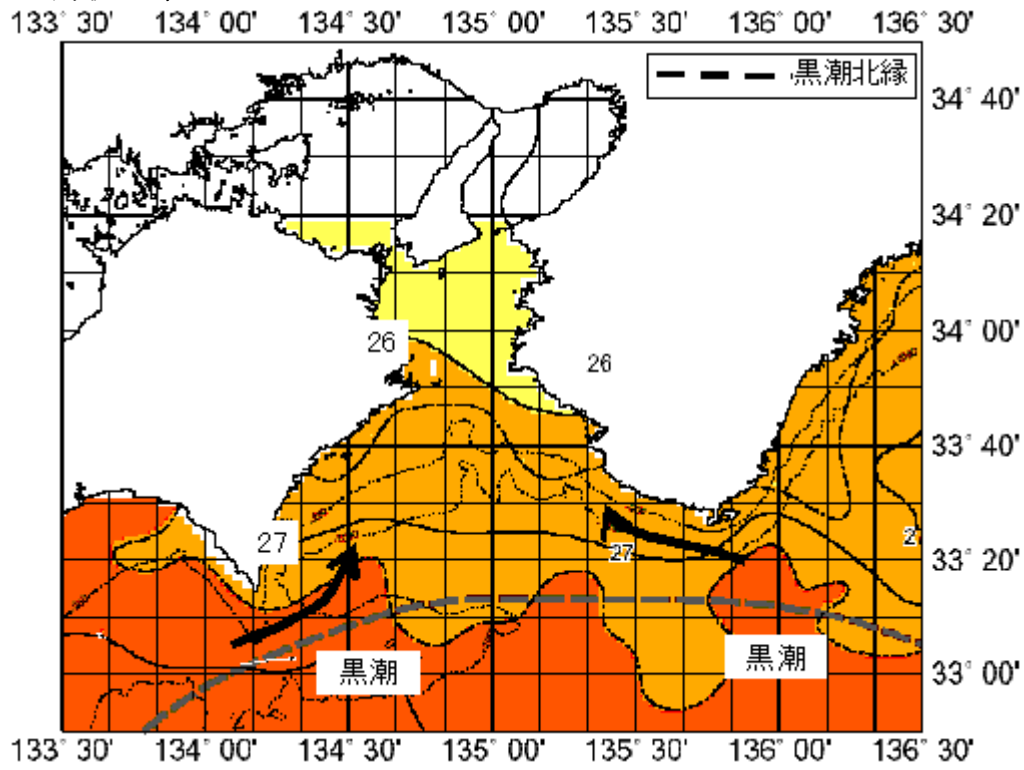


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.07.22)を示した。黒潮は室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は27～28℃台である。表面水温は播磨灘が24℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26～27℃台である。気温の上昇に伴い、海水温が上昇している。紀伊水道外域においては、暖かい黒潮系水が波及している。

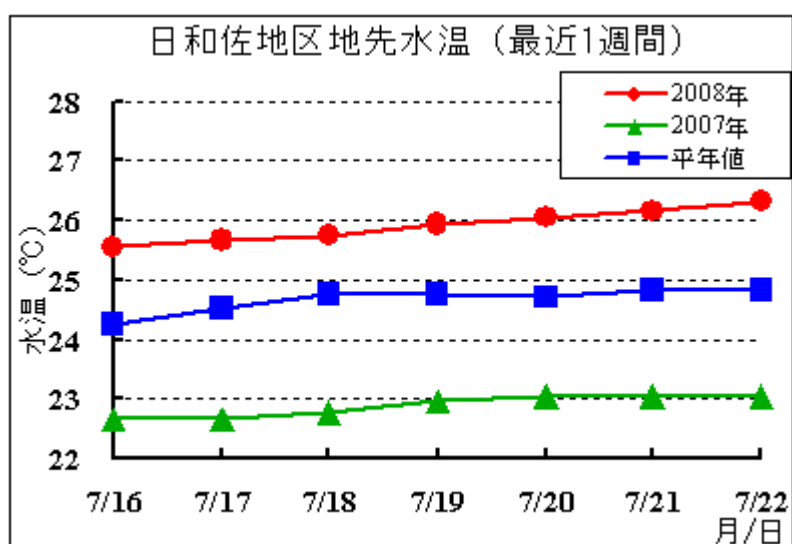
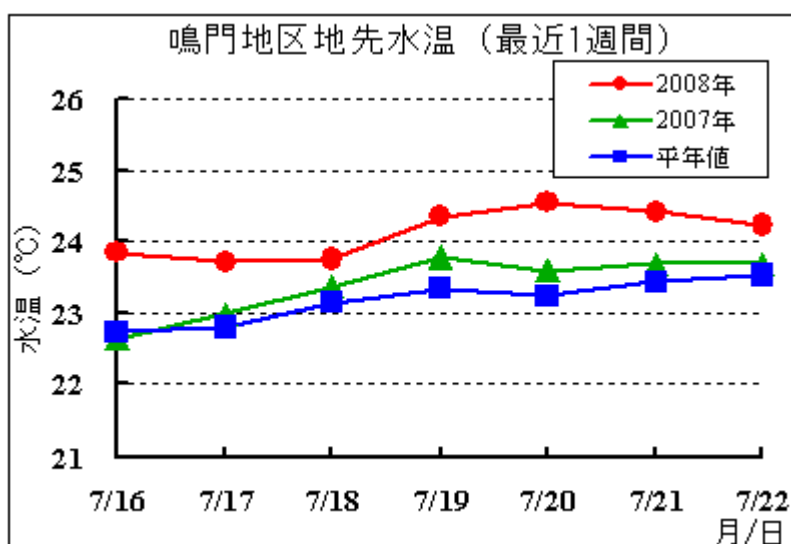
漁業調査船「とくしま」が7月8,10,14日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～30m層が「やや高め」の21.9℃～23.8℃、50m層が「平年並み」の19.8℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2008/07/8,10,14)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	23.8	22.4	22.0	21.9	19.8	今年値	32.1	32.5	32.8	33.2	34.2
平年偏差	1.0	0.6	0.5	0.7	0.1	平年偏差	0.2	-0.2	-0.3	-0.4	0.1
前年偏差	1.3	0.4	0.7	1.4	1.2	前年偏差	0.4	-0.2	-0.3	-0.4	-0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.2～23.4℃、日和佐地区は「やや高め」の24.7～25.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の24.2～26.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが0.4トン(1日1隻当たり44kg)、マメ主体にカマス類が0.3トン(同21kg)、小主体にマアジが1.1トン(同40kg)、マイワシが0.7トン(同167kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、特大主体にタチウオが0.2トン(同10kg)、ヨコワが1.0トン(同3kg)、紀伊水道で、特大・大主体にタチウオが1.5トン(同37kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが77トン(同0.6トン)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 07月14日～07月20日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	10	435	44	
		カマス類	14	294	21	マメ主体
		マアジ	28	1,123	40	小主体
		マイワシ	4	667	167	
釣り	海部沿岸	タチウオ	20	202	10	特大主体
		ヨコワ	385	991	3	
	紀伊水道	タチウオ	40	1,463	37	特大・大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	132	76,725	581	

週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸、潮岬でやや離岸から接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の24℃台、日和佐地先で「高め」の26℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りで、スルメが3.7トン(1日1隻あたり15.2kg)、イサキが3.0トン(同12.5kg)、パッチ網でシラスが4.8トン(同146kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上